

令和 5 年 3 月 2 日

各事業所における処理の状況等について

環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課

事業終了準備期間を活用した処理及び北九州事業エリアの変圧器・コンデンサー等の広域処理に御理解をいただいた大阪市及び関係者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

現体制における西日本エリアでの処理の進捗状況は以下のとおりですが、皆様の御助力を賜りながら、順調に処理が進んでいる状況です。

(1) 北九州 PCB 処理事業

安定器・その他汚染物についての進捗率は 94.9%となっており、令和 4 年度は 1 月末時点までに北九州事業エリア分 12t、大阪事業エリア分 343 t、豊田事業エリア分 312t の処理を順調に進めた。

(2) 豊田 PCB 処理事業

進捗率は変圧器類が 99.8%、コンデンサー類が 99.3%で処理を順調に進めた。なお、令和 5 年 1 月から北九州事業エリア（中国、四国地方）の変圧器類・コンデンサー類の受入れを行っている。

(3) 大阪 PCB 処理事業

進捗率は変圧器類が 100.0%、コンデンサー類が 99.9%で処理を順調に進めた。なお、令和 4 年 10 月から 12 月にかけて北九州事業エリア（九州地方）の変圧器類・コンデンサー類の受け入れを行い、概ね処理を完了した。

※進捗率は、JESCO に登録された処理対象台数、処理対象重量を元に算定しており、処理の進捗だけでなく新規登録、取り下げ等による同台数、同重量の増減に伴い変化することにご留意願います。

環境省としては、JESCO に対する監視・指導體制を強化するとともに、事業に対する理解促進と情報公開など、必要な予算等を確保して、受入条件全般に対応するための取り組みを進めてまいります。また、JESCO とも連携し、引き続き安全第一に処理を実施し、高濃度 PCB 廃棄物の確実かつ適正な処理に取り組んでまいります。